

2023年7月10日

各位

株式会社きらやか銀行
株式会社日本政策金融公庫山形支店

株式会社山形ピッグファームに対する協調融資について

株式会社きらやか銀行（代表取締役頭取：川越浩司、以下「きらやか銀行」という）と、株式会社日本政策金融公庫（総裁：田中一穂、以下「日本公庫」という）は、株式会社山形ピッグファーム（代表取締役：阿部秀顕、以下「山形ピッグファーム」という）に対し、協調融資を実施いたしました。

記

自家消費型太陽光発電で持続可能な畜産経営実現へ ～県内最大規模の養豚業者が地域の環境負荷を軽減～

県内最大規模の養豚業者である山形ピッグファームは環境負荷軽減への取り組みとして、養豚農場内に自家消費型の太陽光発電システムを導入しました。発電した電気はすべて同社農場で消費されます。これにより、光熱費の削減を実現するとともに、持続可能な畜産経営の実現へ一歩近づくこととなります。きらやか銀行と日本公庫は、協調してこの取り組みを支援しました。

○持続可能な畜産経営の実現へ

同社は以前から、地域になくてはならない産業として存在し続けたいとの思いで、地域社会との共生をととても大切にしてきました。当社の主力ブランド豚「舞米豚（まいまいとん）」は山辺町産のお米をエサとして用い、地元スーパーなどで販売する「地産地消」の豚肉として知られています。また、農場から排出される豚糞は、自社設備で100日以上時間をかけて高品質な完熟堆肥とし、地域の田畑へ還元することで循環型社会を実践してきました。

○農場で使う電力の15%を太陽光発電で賄う

今回導入する太陽光発電システムの年間予測発電量は約26万キロワット時(kwh)で、これは当社農場での年間使用電力量の約15%に相当します。停電発生時には自立運転も可能で、非常用電源としての機能にも期待されます。

同社メインバンクであるきらやか銀行及び日本公庫は、昨今の電気料金高騰環境下での経営改善へも繋がると評価し、協調融資で支援しました。

きらやか銀行と日本公庫は、山形県の事業者の方々の経営発展、地域活性化に向けた取り組みを、今後も連携しながら積極的にしてまいります。

<企業概要>

会社名	株式会社 山形ピッグファーム
代表者	代表取締役 阿部 秀顕
所在地	山形県東村山郡山辺町大字根際 249
お借入れ内容	運転資金及び設備資金(金額:計1億3,000万円)

<太陽光パネル写真>



以上

じもとグループは
SDGsに賛同しています



<お問い合わせ先>

きらやか銀行 本業支援部 営業企画課

担当:小潟 TEL:023-631-0001(代表)

日本政策金融公庫 山形支店

担当:重本 TEL:023-625-6135

